

三位一体の主日

ヨハネ 3・16-18

2014.6.15 9:30 ミサ
柴田 潔(イエズス会司祭)

4世紀、「ユダヤ教の神様とキリスト教の神様はどう違うのか？」の話が、水を汲む井戸端でもちきりだったそうです。それほど、「キリスト教の神様はどのような方か」は、関心の深いことでした。しかし、今はそうとも言えません。父と子と聖霊、三位一体論は、キリスト教の中でも難しい教えになっています。

神学部に在籍した時に、この三位一体論の発表が私に回ってきました。いろいろ考えて、「野球選手のイチロー選手の“走攻守”の中に三位一体が実現している」と説明しました。しかし、先生は「では、父なる神様は走攻守のどれですか？」と突っ込んで来られました。私は苦し紛れに「スポーツの基本は走ることなので“走”です」と答えました。けれども「それでは、説得力がありません」と指摘されてBの評価でした。そして先生は、このように三位一体を説明されました。私には一番じっくりくる説明なので皆さんにご紹介します。

「父なる神」は「隠れたる神」。天地万物を創造された君臨する神様です。人間の目からは見えない、逆に見たら人間は死んでしまうような、遠くにおられる神様です。「子なる神（キリスト）」は、「見える神」です。これまで遠かった神様は、独り子イエスが地上に来られることで人間に急接近されました。イエスの癒しの業、力強い説教を通して、神様の憐れみ深さを見て触れることができるようになりました。イエスには聖霊が働いていたので癒しの業、力強い説教を続けることができました。最後、「聖霊」は「生かす神」です。先週、聖霊降臨を祝いましたが、イエスに働いたのと同じ霊が私たちに注がれています。聖霊を受けた私たちは、神様の憐れみ深さを伝えるように派遣されています。キリスト教は、ユダヤ教と同じ一神教ですが、このように神様の特徴を3つの面から説明しています。今回は、神様の特徴の中から3番目の聖霊について考えます。

今日は父の日です。昨日は、お茶ノ水で父の日のプレゼントにゴルフシャツを買いました。今年で父は82歳になりますが、おかげさまで元気に仕事もし、ゴルフも楽しんでます。皆さんご存じのように、叙階式の日に関親は来てくれましたが、家族は私（男兄弟一人）がイエズス会に入会するのは反対でした。

反対していた父でしたが、実家からイエズス会の修練のある広島に向かう晩に、最後に大切なことを2つ言ってくれました。夕食が終わった後に、畳敷きの居間でこう語ってくれました。1つは、「ここがお前の家だからいつでも帰って来なさい」と畳を叩きながら言ってくれました。私は、父の言葉とジェスチャーで自分がこれからすることの意味を浅くしか考えてなかったことを感じました。「だめだったらどうしたらいいのか」考えていませんでした。また、自分がどれほど家族に大事にされてきたか、これからのことも思われているか心に刻むことができました。だめでも、帰れる場所がある。そのことが、私を励ましてくれました。

もう一つは、「いい子になるんじゃない」という言葉です。父は「どの世界も人が集まることは一緒。聖人君主ばかりじゃない。人間関係などで上手くいくこともあるしいかないこともある。大事なのは自分をしっかり持つことだ」と言ってくれました。修道会に入って、まったく違う生活の中で、時々違和感を感じるがありました。「周りはいこう言ってるけど、本当のところはどうなんだろう？」・・・そんなことを感じた時に、父の言葉は力をくれました。うのみにしたり流されるんじゃないなくて、自分なりに考えて行動する。本当に大事だと思ったことは、一人でもやり始める。諦めないでやり続ける。その信念が大事だ、父は教えてくれたように思います。父は、修道生活がどんなものか分かっていたわけではないと思います。たまたま父と一緒に食事する機会があると、「(お刺身とか) こんなごちそう修道院では食べられないだろうから何でも注文しなさい」と言ってくれます。「お刺身は時々食べてるんだけど・・・」と内心想いつつ、でも父なりに想像してくれることをありがたく感じました。父は、今まで子どもを育てた経験から、見知らぬところへ旅立つ上で役立ちそうな言葉を私にくれました。また、私は、期待を裏切ってしまった申し訳なさを感じながら父の言葉を受け取りました。

考えてみたら、聖霊にも同じニュアンスがあると思います。神様は、弟子たちの行く末を案じて聖霊を送りました。弟子たちはイエスの期待を裏切ってしまうと申し訳ない気持ちと、恩着せがましいことも言わないで赦してくれた喜びの気持ちで受け取りました。だから、生まれ変わって福音を伝え始めることができました。「聖霊は、申し訳なさ・かたじけなさ感謝の気持ちで受けるものじゃないか？」と父の言葉から思います。

父と子と聖霊、三位一体の神様は、このような理解の仕方でもできるし、皆さんの体験からいろいろな理解もできると思います。自分の腑に落ちる理解の仕

方で、三位一体の神様から霊的な力を受けましょう。私たちの天の父、子なる神のイエス、そして血のつながった父に感謝してミサを続けましょう。